



メキシコ研修

(2009/4/28~5/10)



今回まず訪れたのは、メキシコの西側にある、ラパス。ラパスへは、ロサンゼルス乗換えでサンホセデルカボ空港へ入り、車で約3時間の道のりを移動して入るのが一般的。と言うことでロサンゼルスでの乗換えをそそくさと済ませ、一路ラパスへ。時差の関係で、日本を出発したのと同じ日にラパスに到着。少しだけお得な気分だけど、時差の為、かなりハードなスケジュール。睡魔が襲う...。と言うことで1日目は、移動で終了。2日目から視察スタート！

ラパス2日目は、宿泊施設一体型のダイビングサービス、「バハバラダイス」でのダイビング。この時期のダイビングはオフシーズン。水温も28℃前後と低く、透明度も良くない。だけど、何が出てもおかしくないと言われるラパス！少しの期待を抱いて、いざ出発！スピードボートで約1時間。

ラパスでの最初のダイビングは、世界的にも有名なアシカポイント「ロスイスロテス」。ここは、アシカのコロニーがあり、約400頭のアシカが生息している。ベストシーズン中の9月半ばには夏前に生まれたアシカの赤ちゃんが子犬のようにダイバーにじやれてくる。フィンを甘噛みしたりして非常に愛嬌がある。水温も28℃ぐらいまであるので、まさにベストシーズン。今回は、残念ながらオフシーズンの為、赤ちゃんアシカは不在でした。少しだけ大人アシカが近づいてきたものの、少々不発。アシカが来なくても、地形が面白いので充分楽しめるのですが、一緒に居たお客様がアシカリクエストだったので2本目も少し移動し「ロスイスロテス」を潜ることに。2本目は大人アシカが、グングン周囲を泳ぎ周りに届きそうな距離を凄いスピードで駆け抜けるので、少し怖かったです。しかしカメラ派ダイバーにとっては、掠めるくらいの距離を行き来するサービスピ精神旺盛なアシカ達は嬉しい。ダイビング中に大物は見ることが出来なかったけど、水面休憩の時にボート上からモブがジャンプするのを見ることができたので、ラパスに来た価値は少しはあったかなと。

2本目終了後、エスピリットウ・サント島にあるカンデレロビーチに行きランチ。現地スタッフが作ってくれたランチはメキシカンフードの定番、タコス。ダイビング中の寒い海と違って、陸は30℃近い暑さで荒涼とした赤土に巨大なサボテンと『Theメキシコ』といった感じ。しかし荒涼とした陸とは逆にホワイトサンドビーチにエメラルドグリーン的大海と癒し系。そしてランチ後に、このビーチで、もう一つのお楽しみがあります。それは、ラパス名物デカジョー。

こぶし大の大きさの顔を砂地から覗かせているのでスノーケリングでも簡単に見つけられるサイズ。そして本日は2本&スノーケリングで終了。その後、シヨップに戻り、秋のクルーズで使用する船の視察を行なうことに。インフルエンザにより、メキシコでは本日より約1週間の予定で公共の機関が休業すること。陽気なメキシカンは突然の休暇が入ったと喜び、バカンスに行くらしいのです。



ラパス名物『デカジョー』



荒涼とした大地！



アシカ天国♪ロスイスロテス

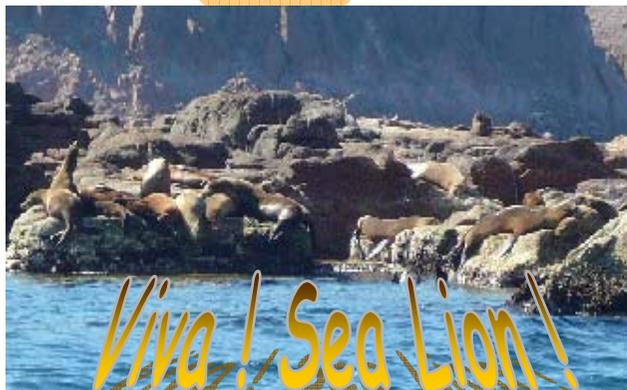
視察後、バハバラダイスに宿泊していた日本人のお客様とオーナーの石田さんとマリナーにあるシーフードレストランへ。ラパスは前にも説明したように周りをコルテス海に囲まれているので豊富な漁場になっていて。そのおかげでシーフードが美味しい。石田さんにオススメ料理を選んでもらい、舌鼓。本当に美味しかったです。この時一緒だったお客様は会社から連絡があり日程を早めて帰るとの事だったので、ささやかな送別会となりました。ラパスでは、ほとんどマスク姿の人を見かけなかっただけに、日本の報道の加熱振りが少し悲しい...。とは言っても私の研修は始まったばかり。気合いを入れて、明日から頑張るぞ！と誓いメキシカンビールで乾杯。翌朝はコルテススクラブに場所を移動してダイビングです。

翌朝、視察を兼ねてコスタバハのコンドミニアムへ宿泊する為、ダイビング前に移動。ここはラパスで別荘を持つような感覚が味わえるので、ちよつと違うステイを楽しみたい方にはオススメ。ただダウンタウンまでは少し遠いのが、難点。



コスタバハで少しセレブな気分を

そして、ゆっくりする間もなく、コルテスクラブへ。送迎があるので、部屋の前で待っているだけで。コルテスクラブに到着すると、ここでも日本人のお客様が1名居たので今日は、その方と一緒にさせて頂きます。そして本日1本目は『ラ・レイーナ』。ここは無人島でスペイン語の「女王」という意味。その名に恥じない魚影の濃さが売りでエントリした瞬間にブルーアンドゴールドスナツパの物凄い数がお出迎えしてくれた。今までに魚群を見たことはあるけれど、身震いするほどの数は初めて。しかも水深も約13mと、それほど深くない。いつもなら魚影の濃さに興奮する私ですが、さすがに不気味。更に魚影の間から、大きなアシカが出現するから、恐怖の連続。だけど今日は1本目からラパスの凄さを感じられたダイビングが出来てよな気がします♪



Viva! Sea Lion!

☆ ラパスインフォメーション ☆

南バハカリフォルニア州の州都。名前の由来は、スペイン語で『平和』という意味。コルテス海に面した穏やかな港町だが、ダイビングに関してはダイナミックな大物狙いのポイントが盛り沢山。世界中からコルテス海を目指してダイバーが集まる。ダイビングシーズン：6月～11月頃。特に9月後半は赤ちゃんアシカと遊べる、ベストシーズン。

言語：スペイン語。英語も少し使える。通貨：ヌエボ・ペソ。メニューの表記は\$で表記されるので、注意。またUSドルで支払っても、おつりはペソで来るので、注意が必要。行き方：ラパスへはロサンゼルス経由のサンホセデルカボ行きを使うのが一般的。サンホセデルカボからは、陸路で約3時間。

そして、場所を移動しての2本目は『サルバティエラ』。

ここは、ラパス屈指の沈船ポイント。1976年に沈んだフェリー『サルバティエラ』が沈んでおり水深は30m前後。全長80m級の巨大フェリーは、やや崩れているものの魚たちのかつこうの住処となつている。透明度はあまり良くないものの、カメも見れたし、まずまずの満足度。それよりも寒くてレギュレーターをくわえている口が寒さで震えます！『ガイドさん、そろそろ上がりませんか？』と心の中で叫んでいると、通じました！ やっとボートに上がりお待ちかねのランチです。コルテスクラブでのランチは、事前にリクエストをしていたのでイタリアンサンドウィッチです。もちろんタコスなどもリクエストできるのでメキシカン一色も可能です。

それと嬉しいことにバハパラダイスもコルテスクラブも水面休息やランチの時にソフトドリンクや炭酸飲料、ミネラルウォーターなどを用意しておいてくれるので、持参しなくてもいいのが嬉しいです。ランチ終了後、一緒に潜っていたお客様は元気に3本目へ行きましたが、私は寒さから回復しなかったのでボートで留守番。ボートキャプテンにラパスでのダイビングの面白さを聞いておりました。そして聞けば、聞くほどベストシーズンのラパスを潜りたい気持ちでいっぱいになります。

そして本日のダイビング終了。ラパスへ戻る途中でラパス名物の三角▼岩に寄ってくれました。この岩には陸路からも行けるので周りには、たくさん観光客が写真を撮ったりしています。が、この岩、名物という割には見ての通りバランスが悪いので台風シーズンには、よく折れるのです。そして毎回、涙ぐましい努力により復活しているのです！



ダイビング終了後、一緒に夕食を食べることに。これも旅の醍醐味ですね。

その前に、コンドミニアムの視察とコスタバハの散策の為に一度帰宅。ここはラパス最大のマリナーにあり、ダウンタウンからも少し離れているので、静かで大人なリゾートの雰囲気を楽しめます。また施設内にはレストランや売店、プールなどがあり、ダウンタウンに出なくても楽しめます。もちろんダウンタウンに出たい方には2時間に1本ぐらいのスケジュールでシャトルバスが走っているので、時間が合えば便利です。ただ、私が訪れたのはオフシーズンに加え、インフルエンザ発生の真っ只中。施設内にある売店などは閉まっていました。ダイビングの後ですごく喉が渴いていたので売店を探し、隣のホテルフイエスタインまで歩くこと5分。ラパスは暑いのでコーラやビールなどの炭酸飲料が非常に美味しい。ようやく喉の乾きも直りダウンタウンへ。この時、シャトルバスが無かったので、フイエスタインでタクシーを呼んでもらい、ダウンタウンへ行きました。ほとんど金額は決まっています、コンドミニアムからダウンタウンへはUS\$10.00ぐらい。コスタバハ内の売店がお休みだったので、翌朝の朝食を買うためにダウンタウンのスーパーマーケットへ。ラパスでは、カップラーメンのことを『MARCHAN』と呼びラパスでも愛されているとの情報を得たので、早速メキシカンマルちゃんを買ってみることに。メキシコの定番『エビ入りチリ&ライム風味』を選択。結構美味しかったので、滞在中メキシコ料理に飽きたり、お土産に迷ったら『MARCHAN』はオススメ。

そして、一緒に潜った方と地元のシーフードのお店へ。お店の名前は忘れてしまったけど、ガイドブックにも載っている『M』というお店の斜め前にあるシーフードのお店。ビーチ沿いでサンセットも楽しめるオーブレストラン。料理はどれも美味しくて、量が多い。メキシカンビールを飲みながら食べるロブスターやクラムチャウダーは絶品です。さらに陽気な流しのアミーゴ達の演奏もあり雰囲気を盛り上げてくれる。ラパスへ行かれる方は、是非試してみてください♪



ダイビングサービスの紹介！

まずは、『バハパラダイス』

ダウンタウンにあるペンションと一体型のダイビングショップ。庭にサボテンが植えられ、その横にはオープン窯が新たに設置されるなど、常に快適さを求め、手を加えられています。またダイビングショップと一体型で1階には機材を干せるスペースがあり、レストランではダイビング談義をしながらダイバーが集まってくるので、ダイバーにはオススメです。そして、宿の周りには美味しいレストランがあるので、オーナーの石田さんに教えてもらってローカル気分であって美味しいタコスやエビを堪能するのもあり。またとってもアットホームな宿なので1人でも快適に楽しめます♪



次に『コルテスクラブ』

ダウンタウンから車で20分ぐらいのホテルラコンチャ内にあるダイビングサービス。ホテル併設のショップなので、ダイビング以外にもスノーケリングセットやフィッシングセットなどが充実しています。またパワーのある高速船を所有しているので、遠いポイントにもらくらくアクセス可能。ラコンチャ又はコンドミニアム宿泊の方には、オススメです。



オススメホテル♪

まずは【セブクラウン】

メインストリートに出来たモダンなホテルで、室内の感じもモダンで屋上にはバーとレストラン。それにジャグジーもあります。そしてホテルのレストランはサンセットを楽しむには最高のロケーション♪またレストランでは無線LANが使えるのも嬉しいサービス。街歩きにも便利で、スーパーやお土産物やにも近いのでラパス散策したい人にはオススメ★



次に【ホテルペルラ】

こちらにもメインストリートにあるホテル。セブクラウンよりも更に中心にあるのでアクティブにタウンステイを楽しみたい方にはオススメ。海に面したオーシャンビューはベランダがあり眺めは良いけど一階がオープンレストランになっているので少しうるさいかも。静かに過ごしたい方は、内側に面したプールビューがオススメ。ハシエンダ風の施設内は、メキシコっぽい色合いで可愛いくプールや子供用の遊び場などがあるのでファミリーにも人気なホテル。



次は【ホテルマリナ】

ダウンタウンからは少し離れたマリナにあるホテル。全室オーシャンビューで、ホテル内には大きめのプールや、レストラン、スポーツバーなどがあり、ホテル施設内で色々楽しむことが出来る。また部屋No.の下に、メキシコゆかりの名前が書かれていたりと廊下を歩くだけで楽しくなる。



次は【ハシエンダブーゲンベリア】

このホテルは、ダウンタウンから数ブロック離れた所にあるホテルで、ダイブクルーズ下船後に利用するホテル。ダウンタウンに出るには、少し歩かないといけないが、クルーズで仲良くなったメンバーはホテルでワイワイとクルーズ&ダイビング談義を楽しんでいる模様♪オーナーは、バハダイビングサービスを経営する一家なので、プール講習が出来る深めのプールがあったり、部屋はダイビング機材一式を持ち運ぶダイバーのために広めのつくり。色んな部分でダイバーを意識した作り♪



最後は【コスタバハコンドミニウム】

ダウンタウンから車で約15分のところにある静かなマリナにあるホテル。ダウンタウンへはシャトルバスも走っている。(※シーズンによっては2時間に1本なので要注意！) タクシーで行く場合には、\$5000ぐらい。バルコニーが広く、ダイビング機材を干すには充分な広さ。キッチンもフル装備なので、長期滞在やスーパーで食材を買い込んで料理しても良いという方はオススメ★引住感覚で楽しめる。

